

2024年度 流域圏担い手づくり事例集について

’24. 9. 6 豊田市矢作川研究所 洲崎燈子

【これまでの事例集づくりについて】

- ・ 中山間地の活性化を進め、過疎化や少子高齢化問題を解決に導く糸口として、持続可能な流域作りに関わる102団体に取材を行い、2013～2016年度にかけて4冊の「山村再生担い手作り事例集」を、2017～2018年度にかけて2冊の「流域圏担い手づくり事例集」を作成した。
- ・ 2019～20年度は事例集づくりを休止し、流域圏懇談会10年誌を作成。
- ・ 10年誌をつくったことで、都市を巻き込んだ流域圏づくりの必要性が認識されるようになり、2021年度以降の事例集は複数の方の取材・寄稿により、ひとつのテーマの立体像を描く様式に変更。2021年度は学童保育木造化プロジェクト、2022年度は錦二丁目都市の木質化プロジェクト、2023年度は伊勢湾・三河湾の豊かさを取り上げた。
- ・ 2017～19年度および2023～24年度には、事例集づくりでできた人のつながりを深め、広めることをめざして「事例集交流会」を開催した。

事例集のあゆみ

発行年度	タイトル	調査団体数	備考
2013(H25)年度	山村再生担い手づくり事例集	21団体(山:21)	
2014(H26)年度	山村再生担い手づくり事例集Ⅱ	21団体 (山:17、川:2、海:2)	川・海の活動団体を取材先に加える
2015(H27)年度	山村再生担い手づくり事例集Ⅲ	22団体 (山:18、川:2、海:2)	
2016(H28)年度	山村再生担い手づくり事例集 その後いかがお過ごしですか？ プロジェクト	17団体(山:17)	2013年度の取材先を再取材
2017(H29)年度	流域圏担い手づくり事例集	19団体 (山:12、川:6、海:1)	山村再生担い手づくり事例集交流会開催 (於・根羽村、2017.4.15) 冊子名を流域圏担い手づくり事例集に移行
2018(H30)年度	流域圏担い手づくり事例集Ⅱ	19団体 (山:11、川:7、海:1)	流域圏担い手づくり事例集交流会2018開催 (於・佐久島、2018.4.14)
2019(R1)年度	(流域圏懇談会10年誌作成・ 担い手づくり事例集の振り返り)	—	流域圏担い手づくり事例集交流会2019開催 (於・岡崎市、2019.6.22)
2020(R2)年度			
2021(R3)年度	流域圏担い手づくり事例集Ⅲ	1プロジェクト (個人:6、施設:3)	取材対象:学童保育木造化プロジェクト
2022(R4)年度	流域圏担い手づくり事例集Ⅳ	1プロジェクト (個人:15)	取材対象:錦二丁目都市の木質化プロジェクト
2023(R5)年度	流域圏担い手づくり事例集Ⅴ	1プロジェクト (個人:7、寄稿:7)	テーマ:伊勢湾・三河湾の豊かさを考える
			流域圏担い手づくり事例集交流会2023開催 (於・豊田市、2023.5.19)
2024(R6)年度	流域圏担い手づくり事例集Ⅵ (予定)	1プロジェクト	テーマ:矢作川中～下流と都市(仮)
			流域圏担い手づくり事例集交流会2024開催 (於・鳥羽市、2024.7.6～7)

矢作川流域圏 担い手づくり事例集Ⅲ



学童保育木造化プロジェクト

矢作川流域圏懇談会
2022年3月

流域圏担い手づくり事例集Ⅲ

「学童保育木造化プロジェクト」(2022 年発行)

- ・名古屋を中心に、プレハブの学童保育を、額田の木材を使って伝統構法である板倉構法で建て替えている「森と子ども未来会議」が進めるプロジェクト。
- ・学童保育を木造化したことで、子どもたちは心身が健やかになり、指導員は落ち着いて子どもに向き合えるようになり、保護者は安心して子どもを預けられるようになった。それまで迷惑施設だった学童が、地域の人が喜んで、公民館のように使うことができる施設になった。
- ・「森と子ども未来会議」代表の鈴木建一さんはこの取材がきっかけで、2024 年度より市民部会座長に就任。

流域圏担い手づくり事例集Ⅳ

「錦二丁目都市の木質化プロジェクト」(2023 年発行)

- ・名古屋で、衰退した商業地を活性化するために立ち上がった「錦二丁目まちづくり協議会」が立ち上げたプロジェクト。
- ・この協議会は、まちづくりを手がける NPO「まちの縁側育くみ隊」や名古屋大学の「都市の木質化プロジェクト」、豊田の「旭木の駅プロジェクト（人工林の放置材を地域通貨に替える取組）」と連携し、楽しみながら多彩な形でまちの木質化を進め、愛知県産材利用の先進事例にもなった。

流域圏 担い手づくり事例集Ⅳ



錦二丁目都市の木質化プロジェクト



矢作川流域圏懇談会
2023年3月

流域圏 担い手づくり事例集Ⅴ

伊勢湾・三河湾の
豊かさを考える



矢作川流域圏懇談会
2024年3月

流域圏担い手づくり事例集Ⅴ

「伊勢湾・三河湾の豊かさを考える」(2024 年発行)

- ・かつての豊かだった伊勢湾・三河湾が失われた過程と海ごみの問題、海と地域の再生に向けた多様な取組を、取材と寄稿により紹介。
- ・伊勢湾・三河湾のさまざまな恩恵を受けている都市域の住民が、その恵みが海水の貧栄養化や、多様な自然空間の喪失によっておびやかされていることを知り、自分ごとと位置付け、情報や意見を発信していくことの重要性を示した。